

令和7年度 学校教育評価【保護者】結果について

松山市立素鷲小学校

<令和7年12月実施>

※回答率(69.3%)

4…大変よい・成果があがっている 3…おおむねよい・成果があがりつつある
2…もう少し・一部見直しが必要 1…不十分・見直しが必要 ?…判断できない

No	設 問	【4】 (%)	【3】 (%)	【2】 (%)	【1】 (%)	【?】 (%)	評価 平均値	昨年度 結果
1	学校は、一人一人が分かる喜び、友達と一緒に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。 【具体例】ペア・グループで互いに教え合う場を設定した授業など	31%	49%	8%	1%	12%	3.3	3.1
2	学校はタブレットの活用等、効果的にICTを活用している。 【具体例】ロイノートやタブレットドリルなどの日常的な活用など	41%	43%	8%	3%	5%	3.3	3.3
3	学校は、児童の学力や体力が定着するよう計画的に指導している。 【具体例】家庭学習・単元別テストなどの実施、業間・校内マラソン大会、放課後運動練習の実施、縄跳びカードなど	36%	51%	8%	2%	4%	3.3	3.1
4	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に努めている。 【具体例】<低学年>まちたんけん<中学年>公民館訪問・老人介護施設訪問<高学年>和田重次郎の学習・お仕事講話 など	45%	46%	4%	0%	5%	3.5	3.3
5	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。 【具体例】人権参観日の実施、JRC委員会「ほっとメッセージ」の実施など	33%	50%	9%	2%	5%	3.3	3.1
6	学校は、「学校のきまり」など、生徒指導体制を見直しながら、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。 【具体例】生徒指導主事による毎月の生活目標の確認や校内外の生活指導(校内放送)など	29%	48%	10%	1%	12%	3.2	3.1
7	学校は、将来に夢をもち、自分の生き方について考える児童を育てている。 【具体例】<全学年>キャリア・パスポートへの記入<2年>「まちたんけん」仕事場見学<6年>「お仕事講話」で地域の方を招き仕事に関する話を聞く活動	28%	48%	11%	0%	13%	3.2	3.0
8	学校は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。 【具体例】通学路安全点検や「グリンパ」貼設置、毎月の校内安全点検の実施など	32%	51%	11%	0%	5%	3.3	3.2
9	学校は、個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康の保持・増進に努めている。 【具体例】毎朝の健康観察や定期的な健康診断、身体計測の実施など	40%	49%	7%	0%	5%	3.4	3.3
10	学校は、「教室の換気の確保」や「手洗いなどの手指衛生の指導」など、状況に応じた基本的な感染症対策を適切に行っている。 【具体例】教室の窓開放や加湿器の設置、石けん・手指消毒液の設置など	35%	44%	7%	0%	14%	3.4	3.4
11	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。 【具体例】個別の教育支援計画の作成、通級指導教室の設置・連携など	37%	38%	5%	1%	19%	3.4	3.3
12	学校は、学習指導や生徒指導、相談事案など、組織的な対応をしている。 【具体例】5・6年教科担任制導入、管理職や生徒指導主事を含めた相談体制など	32%	40%	8%	2%	19%	3.3	3.2
13	教職員は、子どもたち一人一人がわかる授業づくりや、様々な教育課題への対応のために工夫している。 【具体例】ICT機器の活用、授業改善のための校内研修等の実施、毎月の生徒指導に関する情報交換の実施など	26%	48%	8%	3%	15%	3.2	3.1
14	学校は、教育活動の充実に向けて、地域や保護者と連携・協力している。 【具体例】授業参観の実施、コミュニティ・スクールの実施(地域の方や保護者への授業が「ト依頼」、見守り隊や読み聞かせ隊活動、地域への学校開放	38%	48%	9%	1%	4%	3.3	3.2
15	学校は、学校・学年だよりやホームページ、テトル・MACメール等により、積極的に情報を発信している。 【具体例】ホームページへの毎日1記事掲載、行事・下校時刻のお知らせ配信、チラシのホームページへの掲載(配付物の軽減)など	60%	35%	3%	1%	0%	3.6	3.6
16	学校は、板書(黒板)の工夫等の言語活動の整備及び展掲示の充実等の環境整備に努めている。 【具体例】話し合いの場を設定した話す・聞く力の育成学習の成果、季節や行事に合わせた校内・教室掲示など	34%	50%	7%	0%	8%	3.3	3.3
17	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につながるよう、関係園・中学校と連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。 【具体例】入学前園児との交流会(1年)、拓中生によるスウェッチ教室の実施	30%	44%	8%	1%	17%	3.3	3.2
18	学校は、関係園や中学校と連携し、園児・児童・生徒の相互理解の促進を図るとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。 【具体例】教員による入学児在籍園との情報交換、小中連絡会の開催	24%	44%	7%	1%	24%	3.2	3.2

【評価に対する考察等】

▲…改善点等

▲ 令和7年度の評価平均値は 3.3ポイントとなり、昨年度より0.1ポイント高くなりました。項目ごとに評価平均値を比較すると、多くの項目で昨年度と同程度、または0.1～0.2ポイントの改善が見られ、学校として継続して取り組んできた教育活動が一定の成果として表れていると考えます。また、自由記述のご意見も含め、各項目の結果の要因を丁寧に分析し、今後の学校づくりに生かしていきたいと考えております。

○ 【質問14:地域や保護者との連携】に関する項目では、昨年度より0.1ポイント高くなりました。本校では今年度よりコミュニティ・スクールを導入し、地域の方々や保護者の皆様に授業サポート等で直接参画いただく取り組みを開始しております。こうした協働の場をさらに広げ、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制を強化することで、地域全体で子どもたちを育む機運を高めていけるよう取り組んでまいります。

▲ また、昨年度に引き続き、【質問7:将来の夢・生き方】に関する項目は他の項目と比べて評価が低い傾向にあります。「わからない」と回答した割合が一定数あり、特に低・中学年の保護者にとっては回答が難しい内容であることが影響していると考えられます。学校では、小学校から高等学校まで継続して使用する「キャリア・パスポート」を活用し、学習や活動の記録、自己評価を通して児童が自分の成長を振り返り、将来の目標設定につなげられるよう取り組んでいます。今年度も外部講師(世界陸上出場選手、東京ヤクルトスワローズ選手、地域人材によるお仕事講話)を招聘したキャリア教育を実施し、児童が将来について考える機会を充実させてきました。今後も、学校と家庭が連携しながら、子どもたちのキャリア形成を支えていきたいと考えています。

【学習】に関する内容

- 教科担任制が、うちの子どもには合っていました。学年部の先生方で学年全体を見てくださっている安心もあります。
・教科担当制はテレビ等でも見たことがあり、素鷲小でも導入したらどうかと思っていたので大変良かったと思います。
- ▲ 休んでいる時も授業をオンラインで受けれるようにしてほしいです。インフルエンザなど、しんどい時は受けれないと思うが、体調が回復した時などは授業を聞くだけでもできると思うし、体調不良以外で休んでいる子のためにもなると思います。

◇学校より◇

- 5・6学年で実施している教科担任制について、温かいお言葉をいただき感謝申し上げます。教科担任制は、教員の専門性を活かした「授業の質の向上」とともに、学年部の教員全員で「多角的に子どもたちを見守る」ことを目的としております。保護者の皆様に「安心感がある」と感じていただけたことは、教職員にとっても大きな励みとなります。今後も学年チーム一丸となり、子どもたちの成長を支えてまいります。
- 欠席中の学習保障について、貴重なご意見をありがとうございます。現在、本校ではオンライン配信を行うための常設の機器整備が十分ではなく、即時の対応が難しい状況です。当面は、タブレット端末を活用した学習課題の提示や、回復後の個別学習のフォローなどを中心に、学習に遅れが出ないよう努めてまいります。オンライン活用のあり方については、今後のICT環境の整備状況を踏まえ、引き続き検討してまいります。

【生活】に関する内容

- ・手厚く指導してくださりありがとうございます。
・いつも休んだ時電話をして気にかけて下さりありがとうございます。去年より参観日も落ち着いていて安心しています。
- ▲ スマホを持っている子どもが増えている印象です。顔写真を許可なく投稿、LINEを許可なく他人に教える等、気になる事が多いです。各家庭で使い方はそれぞれだとは思いますが、トラブルになる前に学校からも厳しめに話をしてもらえたら助かります。
- ▲ タブレットPC利用について、自宅でも不適切なサイトを見ないように指導していますが、PC側でもセキュリティソフトによるフィルタリング等で取り締まっていただけると幸いです。
- ▲ 登校渋りや不登校の子、その親に対しての支援が気になっています。例えば、始業時間までに行けなくても、玄関に誰か迎え入れる人がいるだけでも親としては助かります。保健室以外の、子どもが安心できる場所も必要になってくるのではと感じています。
- ▲ 給食配膳が遅く給食を食べる時間が少なくなっているようです。てきぱきとした配膳を行い給食をよく噛んで満足に食べられるように努めてほしいです。
- ▲ 全体的に自己肯定感が低いように思います。お互いに自分の良いところを褒めたり学期末に今年学んだことや、成長したことや、こんなことができるようになったなどの発表会をされると、皆で皆を認め合える授業になるのではないかと思います。PBISの実施を求めます。
- ▲ 先日テレビ番組で、今時の学校は名札を学校に置いて登下校時には着けないというのを見ました。都会の学校だけかもしれませんが、昨今どこでどのように悪用されるとも限りませんので名札を学校預かりにするか、ポケットに隠して登下校させるよう指導して頂く方が安全なのではないかと感じました。また、遠足の時など体操服で校外に出ることもあります。あんなに大きな名前が書かれたゼッケン必要かな？とも思いました。
- グリーンベルト設置など、通学路の安全面も働きかけて頂き、ありがとうございます。
- ▲ ・結構な頻度で見ますが、登下校でふざけて車の方に出たりする子を見たりします。実際に私も車の時に前に出てこられたことがあります。スピードを出している車も多いので危ないです。もう一度指導をしていただけたらと思います。
・下校の時、車が来ても避けては広がって危ないことが多々あります。

◇学校より◇

- スマートフォンの利用に関するご提言をいただき、ありがとうございます。学校でも情報モラル教育を強化してまいりますが、トラブル防止には各ご家庭での管理と指導が欠かせません。お子様がスマートフォンを所有される際は、「不適切な使用があれば利用を禁止する」といった厳しいルールを設けたり、保護者が責任を持って使用状況を把握していただいたりするようお願いいたします。子どもたちをトラブルから守るため、ご家庭での毅然とした対応と協力をお願いいたします。
- タブレット端末のフィルタリングについてご意見をいただき、ありがとうございます。現在、学校の端末には市教委指定のフィルタリングソフトが導入されており、不適切なサイトへのアクセスは制限されています。しかし、技術的に全てのサイトを完全に遮断することは難しいため、ご家庭でも引き続き使用状況の見守りをお願いいたします。万が一、不適切なサイトへの接続が確認された場合は、すぐに学校へお知らせください。状況に応じて市教委と連携し、設定の見直しや指導を行ってまいります。
- 登校時の対応につきましては、学校の人員体制に限りがあるため、常時玄関に待機することは難しい状況です。しかし、事前にテトルや電話等で遅刻される時刻をお知らせいただければ、可能な限り玄関で迎え入れられるよう調整いたします。ぜひ遠慮なくご相談ください。また、居場所づくりについては、本校では独自に保健室以外の安心できる場所(別室)を確保しております。教室への入室が難しい子どもが、少しでも安心して過ごせる環境を整えておりますので、状況に合わせて柔軟に活用していければと考えております。今後もご家庭と密に連携し、一人ひとりに適した支援の在り方を共に模索してまいります。
- 本校児童の自己肯定感や人間関係について、貴重なご提言をいただき感謝申し上げます。ご提案いただいたPBIS(ポジティブな行動介入・支援)についても、適切な行動を具体的に認め、称賛することで望ましい行動を促す有効な手法として理解しております。学期末の子どもが成長を実感できる発表会のアイデアを含め、本校の教育活動にどのように取り入れ、より子どもたちが認め合える授業づくりができるか、今後さらに研究・検討を進めてまいります。
- 名札やゼッケンによる個人情報の露出について、防犯上の観点からご提案をいただき感謝申し上げます。現在、本校では登下校時の名札着用を継続しておりますが、ご指摘の通り「学校預かり」や「裏返しにする」などの対策について、近隣校の状況を鑑みながら安全確保のために検討を進めてまいります。また、体操服のゼッケンにつきましては、次年度中に体操服が新デザインに移行するのに合わせて見直しを行います。(現行の体操服が廃版になるため)PTA 服装委員会と協議し、氏名のサイズ縮小など、プライバシーに配慮した新しい仕様を検討してまいります。今後も子どもたちの安全を第一に考えた環境づくりに努めてまいります。
- 登下校時の交通マナーについて、具体的な危険事例をお知らせいただきありがとうございます。学校では、車道への飛び出しや広がった歩行が命に関わる重大な事故に直結することを、学級や全校放送等を通じて改めて厳しく指導してまいります。子どもたちの安全確保には、学校・家庭・地域が一体となった継続的な見守りが不可欠です。学校でも定期的な下校指導や見守りを行いますが、ご家庭におかれましても、通学路の危険箇所や交通ルールについて繰り返しお子様へお話しください。また、地域で危険な歩行を見かけた際は、その場で「地域の教育力」として一声掛けていただけますと幸いです。子どもたちの尊い命を守るため、引き続き皆様の温かい見守りと、ご家庭での毅然としたご指導をお願いします。

【行事等】に関する内容

- ▲ 音楽会の時に、体育館の照明をつけた方が良いと思います。毎年、暗すぎます。
- ▲ ・下校時間が早くなったり、5時間授業や振替休日が多かったりすると思います。授業日数が少ないと思います。
・土日の参観日の午後は授業がないことから、高学年は特に授業時間数の確保ができていないのか不安に思うことがあります。
- ▲ 土日の参観日が他校と比べて多すぎる気がします。無いのは困る家庭もあるので、各学期につき一回でいいと思います。平日の振替休日のため、平日は共働き家庭ですが、対応に非常に苦慮しています。

◇学校より◇

- 音楽会の照明に関するご意見をいただき、ありがとうございます。昨年度も同様のご意見があったことから、今年度はフロアの照明をすべて点灯させて音楽会を開催しました。しかし、設備の老朽化や当日の天候等により館内の照度が不足し、お子様の表情が見えにくくなるなどのご不便をおかけしました。体育館の照明は、市教委が順次LED照明に取り替えている状況ですが、本校の取り替えは未定とのことです。今後は、照度の落ちたランプの交換やカーテンを開けて採光を増やすなど、現状の設備でできる最善の策を検討し、鑑賞環境の向上に努めてまいります。
- 本校では、文部科学省からの通知に基づき、子どもたちの心身の健康と教職員の働き方改革の両立を図るため、過剰な授業時数の削減と適正化を進めております。具体的には、学習指導要領で定められた標準授業時数を確実に満たした上で、学期始めや学期末に4～5時間授業を設定しております。今後も、必要な授業時数を厳守しつつ、子どもたちが集中して学習に取り組める環境維持に努めてまいります。
- 参観日の実施回数と振替休日に関するご意見をいただき、ありがとうございます。本校では、運動会等の行事を含め、お子様の成長を直接ご覧いただく機会として毎月1回程度の参観日を計画しております。これは、学校での学びや集団生活の様子を共有していただく大切な機会と考えており、近隣校と比較しても決して過大な設定ではないと認識しております。一方で、平日の振替休日において、共働きのご家庭にご負担をおかけしていることは重々承知しております。お仕事の調整等、多大なるご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。今後も、学校行事の意義とご家庭への負担のバランスを考慮しながら、適切な学校運営に努めてまいります。

【その他】

- テトルでのプリント配布や、欠席・遅刻等の連絡が出来るのが、とても便利でありがたいです。
- 下校時刻のお知らせがとても便利なので、これからも続けてほしいです。
- ▲ ・インフルエンザや新型コロナ、水痘瘡などの感染症について、早めに流行の始まりや状況をお知らせしていただけないでしょうか。保護者の危機管理にもつながるし、子どもの健康管理について注意を促せるのではないかと思います。
・病院で何の感染症が学校で流行っているのかを聞かれるけれど、分からないのでアプリで確認できるようにしてほしいと思います。
- ▲ ・個々に対して指導方法や接し方を変えるのは、個に応じた対応であるのは分かるが、子ども目線では「ひいき」だととらえてる場面も多かったように思います。

◇学校より◇

- テトルの活用・下校時刻のお知らせについて、好意的な評価をいただきありがとうございます。学校からの情報発信や出欠連絡のデジタル化は、保護者の皆様の利便性向上とともに、学校側の迅速かつ正確な対応にもつながっております。今後も、ICTツールを効果的に活用し、保護者の皆様との円滑な連携と、より安心・便利な連絡体制の維持に努めてまいります。
- 感染症情報の共有について、貴重なご意見をありがとうございます。文部科学省の指針に基づき、学校には感染症拡大防止の役割がある一方、個人特定につながる恐れから、これまでの情報提供には慎重を期してまいりました。しかし、ご家庭での健康管理や受診時の重要性を鑑み、今後はプライバシー保護に十分配慮した上で、テトルを用いた迅速な流行状況の周知について、市教委等に指導を仰ぎながら前向きに検討してまいります。お子様の健康を守るため、より適切な情報発信に努めてまいります。
- 学校では、一人ひとりの特性に応じた「個別の指導」を大切にしておりますが、それがお子様の目線で「不平等」と感じさせてしまっている現状を真摯に受け止めております。教師の関わり方が、子どもたちの「自分にはできる」という自己効力感を育むこともあれば、逆に損ねてしまう可能性もあることを全職員で改めて深く再認識いたしました。性別に関わらず、どの子に対しても公平・公正な態度で接することを徹底し、すべての子どもたちが「自分らしく頑張れる」と自信を持てるよう、温かく細やかな配慮に努めてまいります。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

そのほか、自由記述等でいただきましたご意見は、真摯に受け止め、全教職員で共有し、改善に向けて努力してまいります。今後とも、本校教育活動にご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。